

## 令和4年度実績報告（温故知新クラブ 10周年記念事業「認知症啓発のための映画会」）

### 事業名

温故知新クラブ 10周年記念事業「認知症啓発のための映画会」

### 実施団体名

NPO法人温故知新

### 事業の目的

認知症介護の問題に焦点を当てた映画を上映し、要介護者や認知症の方が長く住み慣れた場所で過ごせるように考えてもらう機会の提供。

### 事業の概略

令和4年6月25日（土）午後

北名古屋市総合体育館多目的ホール

認知症啓発のため、「八重子のハミング」の上映会を実施

### 事業の効果・成果

映画の内容は参考になった。という声をいただいた。

座額よりも、映画を通して認知症の症状、介護実態、周りの支援方法を伝えられたことは、北名古屋市の「認知症を隠さず暮らせるまちづくり」に一役買ったものとする。

### 事業を実施しての問題点

梅雨時期の開催ということもあり、非常に蒸し暑く、気分がすぐれない方がいた。

救護対応で看護師を配置していたが、事前にアナウンスしていなかったため、うまく対応することができなかった。

### 事業の課題・今後の展望

### 自己評価

着目点	自己評価	自己評価コメント
・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	広く市民に声をかけ参加を呼び掛けた。 タイムズ社にも記事記載していただいた。
・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	500円という安価で市民に参加していただけた。

<p>・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか</p>	◎	<p>映画をとおして認知症への理解を深め、老老介護の実態を知り、また、病気を公表することで周りの支援をうることが重要だと感じてもらえた。</p>
<p>・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか</p>	◎	<p>計画どおりに遂行できた。</p>
<p>・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか</p>	◎	<p>午前中の試写から受付、会場案内、上映会、抽選会と問題なく運営した。救護班も設置した。</p>
<p>・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか</p>	◎	<p>当法人の活動紹介を同時に行い、参加者の理解を得た。 また、こうした活動をしてほしいという声が聞かれた。</p>
<p>・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか</p>	◎	<p>医療・介護事業所とも後援を得て開催した。</p>
<p>・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか</p>	◎	<p>有料で開催でき、民間会社ともつながりやすかった。 参加賞も配布できたことで抽選会が盛り上がった。</p>
<p>・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか</p>	◎	<p>今回は当法人の10周年記念事業であったため、既存のポスターを受付に張り出した。チケット代金を徴収することで会からの支出を最低限に抑えることができた。</p>
<p>・自己資金の確保に努めていますか</p>	◎	<p>チケットを219枚手売りしたことで、会場費、DVDレンタル料金の一部に充当できた。</p>
<p>・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか</p>	◎	<p>参加賞は賛助企業に声掛けを行うことで、経費を削減した。 チラシやチケットを当法人で作成、印刷したことで安価に抑えた。</p>
<p>・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか</p>	◎	<p>法人の活動の中で認知症啓発は事業の一つである。 今回の映画会をとおしてみんなに認知症や介護問題を考えていただく一助になった。</p>

## 審査会委員評価

### 事業の良いと思われる点

- ・抽選会と上映会をセットにしたことにより、途中退席をへらせたのでは。
- ・認知症啓発のため、映画という媒体を使用したこと。

### 事業についてのアドバイス、期待する点

- ・若い世代の会員を増やせるとよい。
- ・NPO資格を保持しているメリットを生かして事業が行えるとよい。
- ・1日2回上映など、参加者を増やしたりすることで、持続的な運営が可能となる。
- ・大切な活動なので、無理せず続けてほしい。